

2019 Japan National Team Report ”国代表”



報告者氏名	下石 ひとみ
大会名	2019 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP
開催地	OMAN MUSSANAH
大会期間	30 Sep-07 Oct 2019

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
 2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

開催地域の様子	気温37度湿度80%、蒸し暑い気候。 大会4日目は砂嵐により午前中室内待機となりました。 オマーンセイルの現地サポーターの人数が多く、お手伝いしていただいたり交流しやすかったです。
宿泊場所	Millennium Resort Oman Mussanah アパートメントタイプとホテルタイプがある敷地面積の広いホテルでした。 洗濯やおにぎり作りをしたかったので早い時期からアパートメントタイプをリクエストしていたのですが、日本チームは全員ホテル棟でした。ホテル内にも洗濯機はなかったので全日程洗濯は手洗い。ポットで湯沸かしができたのでおにぎり作りはできました。 食事は朝晩バフェ。毎晩、イタリアン、インド、アラビックなど異なるメニューで、野菜も果物も豊富にあり、選手もサポーターも美味しくお腹いっぱいいただくことができました。
大会の対応は	オマーンセイルのみなさんはお揃いのTシャツを着ていて、多人数で対応してくださいました。おかげですぐに声をかけて話をする機会が多かったです。 計測もかなり細かく時間がかかりましたが、みなさんフレンドリーだったので各ステーションで話がはずみました。 氷も取り放題で、水もあちこちにウォーターサーバーが置いてあり、自分たちで買いに行く必要はなかったです。
選手たちのコンディションは?	ケガ、病気も1件もありませんでした。 レストランの食事もたくさん食べていましたし、全選手に毎日出艇時にランチボックスと一緒におにぎり2個を持たせ、ハーバーバック後にもまたおにぎりを配りました。 夜も早く寝ていたようです。
役員として気をつけたことは?	特に国代表としてではありませんが、日本選手はシャイなので初日は選手たちと一緒に積極的にオマーンセイルの方々や他国の選手たちに声をかけるようにしました。 その後は自分たちでコミュニケーションをとっていました。
海外の選手を見て感じたことは?	日本チームとすれ違うときは「こんにちは」「ありがとう」「私の名前は～です」など日本語を勉強してきて声をかけてきてくれたり、漢字を書くことができる選手もいて感心しました。
日本の選手を見て感じたことは?	最初はシャイでしたが、周りから声をかけられ日々友達が増えていき楽しそうにしていました。 早寝早起き、時間を守り、忘れ物をせず、レースに臨む姿勢を見ることができました。

Spare dayの過ごし方は？	今回は Spare day はありませんでした。 チームレースの日など早くレースが終わった日は、クールダウンとして時間を決めてプールへ行って他国の選手たちと一緒に遊んでいました。
日本チームとしての課題	
JODAへの要望	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本チームが毎回礼儀正しく挨拶してくれる ・帰着後、後から戻る選手のバーゼル出しとスロープから艇を引き上げる手伝いを、国に関係なくやってくれる。 など、何度もオマーンセイル側からお褒めと感謝のことばをいただきました。 出艇時には、「ガンバレ ニッポン！！」と大声援をもらいました。

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会